

イーストアイ パーソナルテント (PTAS) 組み立て手順

[部品一覧]



フレームの組み立て

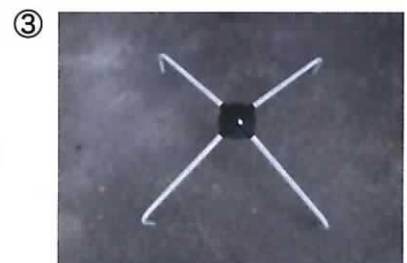
1. 曲げパイプをセンターコネクターに差し込みます。



① スプリング



② スプリングがついている方をセンターコネクターにしっかりと差し込みます。



③ 差し込み完了。

2. 柱パイプを組み立てます。



① 柱パイプは鎖で連結されています。



② 柱パイプを合わせ差し込みます。



③ 連結完了。

3. 曲げパイプに柱パイプを差し込みます。



① 曲げパイプに柱パイプを差し込みます。



② 組み立てがしにくい場合は横にした状態で組み立てをしてください。



③ 骨組み完成。

テント生地を取付

4. テント生地をかぶせ、整えます。



生地ファスナーを開いて被せます。



生地位置を整え十分に引き下げます。

5. 生地下側の四隅にある金具をパイプに差し込みます。



① 黒いループごと金具のついている部分を生地の上からしっかりとにぎります。



② そのまま金具がパイプに入りやすいところまで生地を引き下げ、1ヶ所ずつ順番に先端の金具(ピン)を折り返すようにパイプに差し込みます。



③ 金具を差し込む際は、ループの部分がねじれないようにしてください。
※ねじれて差し込んでしまうと、正しく組立ができません。

6.床パイプを取り付けて完成。



フックを柱パイプに取り付けます。
入り口面は低くします。



組立完成。

※補足

○バリアフリー組立

- ・マンホールトイレなどとセットで使用する場合
入口の床パイプをテント奥側にずらして取り付けることで、進入口に障害物がなくなり
バリアフリー化ができます。



→

・床パイプ取り付けイメージ



トイレ前脚の奥側に床パイプを通し、左右両端についているフックを使用し床パイプを取り付けます。

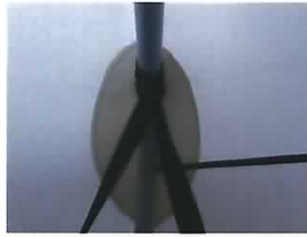


写真のように、立ち上がりの際に妨げにならない位置に取り付けを行ってください。



- ・テントは風や不意の力で動かないように、屋根や地面側にあるループを利用して付属のペグ・ロープ、あるいは市販の重石（土のうなど）で必ず固定してください。
※写真（右）は、折りたたみ給水容器（ホールドキャリア10L）の使用例。

○予備ペーパー用ネットについて



曲げパイプに取り付けることで予備のペーパーをテント内にストックすることができます。

○「使用中」表示窓について

「使用中」を示す表示窓が、赤色となり、遠くからでもわかりやすくなりました。



○テント生地下部について



地面とテント生地部分の隙間をなくすため、生地を裾を伸ばした仕様。テント内側に雨や泥などの跳ね返りも軽減します。

○センターコネクター使用のについて



センターコネクターに吊り下げの穴（φ6mm）を使用してフック等で照明が簡単に取り付けできます。

○軒・床ループの使用について



テント上方(軒部分)のループを利用して付属のロープ等で建物や樹木等に固定できます(風対策)。

テント下部のループに付属のペグを打ち込み、土などに固定ができます。付属のペグやハンマーが使用出来ない場合は別途ご用意をお願いします。

使用例



付属のペグで固定ができない場所では、テント下部の床ループに直接重石を固定する。あるいは軒先ループからロープを張り、市販のテント用ウエイトなどに結びつけて固定します。重石・ウエイトは土のうや砂袋等でも代用できます。

NEW !

○入口ジッパー仕様変更について



・ 入口ジッパー(従来)



・ 入口ジッパー(新タイプ)

使用中に誤って開けられるのを防ぐために、ジッパーのストラップをテント内側に収納することで、テント外側から見えない構造になりました。

入口ジッパー収納方法



テント内側よりストラップを持ち、生地についている面ファスナーと合わせ貼り付けます。しっかりと面ファスナーを貼り付けることで、テント外側からストラップが見えなくなります。

イーストアイ パーソナルテントSタイプ (PTAS) 仕様

本体サイズ：W100×D100×H188cm 入口サイズ95×161cm 前面ジッパー開閉式。重量：5kg

「使用中」表示窓、換気用メッシュ窓、小物入れ、床固定用ループ、強風用ループ

付属品：ロープ4本、スチールペグ4本、簡易ハンマー1本、予備ペーパー用ネット

材質：テント生地/(上部)ポリエステル150D・PU防水加工 耐水圧：3000mm

(サイド)ポリエステル150D・シルバーコーティング加工 耐水圧：1500mm

フレーム：スチール